

授業と評価の年間計画

教科	理 科	科 目	地学基礎
履修条件 対象生徒	必修 普通科1年生		
学習目標	地学的な事物・事象についての観察、実験などを行い、自然に対する関心や探究心を高め、地学的に探究する能力と態度を育てるとともに基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な自然観を身につける。		
学習方法	<p>[授業] 教科書（啓林館）、問題集、授業プリントを用いて授業を展開する。ノートのとおり方については授業の最初の時間で説明する。実験では実験プリントを活用し、科学的な観察力・技能を養成する。</p> <p>[家庭] 問題集は、予習にも復習にも活用できる。復習中心の学習が効果的であるとともに、日常のニュースを見ることも効果的である。この授業の内容は、地学につながる科目なので反復学習による定着が望まれる。</p> <p>[補習・その他] 課題プリントや授業中に指示した問題はもちろん、最近の科学に関するニュースにも目を通しておくことも重要である。</p>		
学習計画 と ねらい	<p>1 1学期</p> <p>(1) 中間考査まで ア 地球</p> <p>(2) 期末考査まで ア 活動する地球 イ 大気・構造</p> <p>2 2学期</p> <p>(1) 中間考査まで ア 太陽放射と大気・海水の運動 イ 日本の天気</p> <p>(2) 期末考査まで ア 地球の誕生 イ 地球と生命の進化</p> <p>3 3学期</p> <p>(1) 学年末考査まで ア 地球史の読み方 イ 自然との共生</p>	(学習内容)	<p>○地球を全体で見たときの、形や大きさといった概観や内部構造について学習する。</p> <p>○地球の大地の活動について学習する。</p> <p>○大気圏の構造と状態について学習する。</p> <p>○太陽放射によって大気や海水が受ける影響とその運動について学習する。</p> <p>○日本の天気の変化について学習する。</p> <p>○宇宙の誕生から、私たちの住む太陽系と地球の誕生までについて学習する。</p> <p>○地球と生命がどのようにして現在の姿となったのかについて学習する。</p> <p>○地球と生命の歴史を探り、読み解く方法について学習する。</p> <p>○これまでの学習を振り返り、自然環境と人類の共生について考える。</p>
評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	地球や地球を取り巻く環境から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
評価方法	定期考査や課題考査の成績を重視するが、授業における課題などの提出状況や出欠状況、授業態度も含め、総合的に判断する。		
その他	共通テストの設問は、ただ単に知識を問うだけでなく、知識をどう生かすかというところにポイントがあるため、資料を見たり、実験を通して深く考える習慣が必要である。		